
[4E2-OS-7a]AIの法学の応用(1)

佐藤 健（国立情報学研究所）、新田 克己（国立情報学研究所）

Fri. Jun 7, 2019 12:00 PM - 1:40 PM Room E (301A Medium meeting room)

12:00 PM - 12:40 PM

[4E2-OS-7a-01](Invited talk) Offender profiling for criminal investigation and application of machine learning

○Zaitzu Wataru¹ (1. Forensic Science Laboratory, Toyama Prefectural Police Headquarters)

Keywords:support of criminal investigation, offender profiling, machine learning

犯人が不明である未解決事件の早期解決を目的として、1970年代米国 FBIより登場した犯罪者プロファイリング、中でも犯人像推定の方法論は精神医学や臨床心理学の知識を基にした分析手法から、1980年代には多変量データ解析を駆使したものと変遷し、今現在の主流となっている。そのような中、近年は我が国においても機械学習を応用した犯人像推定研究が始まる兆しがみられている。また、講演者においては、テキストマイニング技術を用いて、文章情報から犯人像を推定するといった研究も行っている。

本セッションでは、従来の手法の変遷と現在の犯罪者プロファイリングの紹介、そして今後の展望について議論していくこととする。